

インタビュー

子どもを育てたくて里親になりました  
大変なことも多かったけど楽しかった

里親

里親になるために一番必要なことは、子どもを育てたいという気持ちだと思います。

大変なこと、つらいこともいっぱいありましたが、一方で、楽しいことも多く、子どもの成長を見ることに幸せを感じました。食事をおいしいおいしいと食べてくれたことや、家に来た人に、ここは自分の家だと言っているのを聞いてうれしく思ったこともあります。また、里子を通じて、いろいろな人に出会うことができ、多くの事を学ぶことができました。

施設で暮らしている子どもたちにも、たとえ少しの間でも家庭生活をあげあわせてから、社会に送りだしてあげたいと思います。そのため、里親になる方が、1人でも多く増えてほしいと思います。

里子の養育に必要なのは、  
子どもへの愛情と子育てへの意欲です

児童相談所児童福祉司

里親になるには、専門的な知識は必要ありません。子どもへの愛情と子育てへの意欲があり、保護者としての社会常識があればどなたでもなることができます。

里親と里子の組み合わせは、それぞれの希望を考慮した上で、面会・外出などを経て、お互いに愛着が持て、また「この里親と里子であれば、親子関係を築く上での苦労も乗り越えられる」と判断できたところで決定します。

里親になりたいと思っても、自信がなくなってしまう方もいると思いますが、子育てをしながら、里親も里子と共に育っていくものだと思います。児童相談所では、そのためのサポートを全面的に行っていますので、安心して里親に登録していただければと思います。

里親になるには

児童相談所に相談・申請

研修(6日間)

児童相談所による調査

社会福祉審議会による審査

里親に認定・登録

里親公開講座

里親制度を理解してもらい、里親の増加を図る目的で公開講座を行います。

【日時】10月3日(土)・17日(土) 13時～16時30分

【会場】中央区役所

【内容】▶里親制度について ▶里親体験談

【対象】市内在住の方

里親会

里親会は、子どもを養育中又は養育を希望している里親が一緒になって、お互いに支えあい、交流をする場所です。

【内容】▶子どもの養育に必要な知識向上のための研修など ▶里親・里子同士の親睦交流のためのレクリエーション



詳しくは、市児童相談所(☎840・6107、FAX840・6110)へ。

# 里親を必要とする子どもがいます



子どもが健やかに成長するためには、温かい愛情と安心して暮らせる家庭が必要です。

しかし、親の病気や事故、虐待など様々な事情により、自分の家庭で生活することができない子どもたちがいます。

そうした子どもを、家族の一員として迎え、育てる里親制度をご存じですか。里親による養育を必要としている子どもがいるのです。

## 里親とは

里親とは、家庭で生活することができない18歳までの子どもを、家庭で生活できるようになるまで、又は自立するまでの間養育するものです。また、1年以内の期間を定めて短期間養育することもできます。なお、緊急に保護が必要になった子どもの養育を、数日から数か月間、お願いする場合があります。

## もっと知りたい!里親のこと 里親Q&A

**Q.里親は誰でもなれますか?**

**A.**特別な資格は必要なく、愛情を持って子どもを養育でき、また、養育環境が整っている方であれば、だれでも里親になれます。

**Q.養育費などの援助はありますか?**

**A.**里親手当が支給されます。そのほかに、生活費、医療費、学校で必要となる教育費、修学旅行の費用の一部などが支給されます。また、所得税法上の扶養控除も受けられます。

**Q.どんな子どもを紹介してもらえるのですか?**

**A.**里親の希望や家庭状況と子どもの希望を考慮して紹介します。

**Q.養育中の子どもと養子縁組はできますか?**

**A.**できます。ただ、子どもの親権者の同意が必要です。また、養子縁組を前提として里親になることもできます。

## 家庭で暮らせない子どもの現状

子どもが家庭で生活できない事情としては、親の離婚や病気、児童虐待などがあります。なかでも最近では、虐待によるものが増えています。児童虐待には、殴る、蹴るなどの身体的虐待や食事を与えないなどのネグレクト(養育の放棄)等があります。

家庭で生活できない子どもの数は、児童虐待の増加と共に増えています。一方で、里親登録者の高齢化が進んでいること、また、核家族化や共働き世帯が増えるなどの家族形態の変化により、里親の数は年々減少しています。

このため、保護が必要な子どもたちが里親のもとで生活できるのは1割弱だけで、そのほかの子どもたちは乳児院や児童養護施設などで生活しています。

